

ごみ処理費用削減にご協力をお願いします!



- 再生資源集回収助成金の注意
 - ビン類や、缶類の中に他のものを混ぜないこと(ごみ袋ごと)。
 - 資源物は汚れを落として出しませう。
 - 町の収集に出してあるごみから資源を抜き取りなごみ袋に入れてください。
 - 事業所から出たごみは助成対象外となります。

助成項目	助成額
新聞紙	1kgあたり10円
チラシ	1kgあたり10円
雑誌	1kgあたり10円
その他紙類	1kgあたり10円
ダンボール	1kgあたり10円
ビール瓶	1本あたり10円
一升瓶	1本あたり10円
その他の瓶	1kgあたり20円
アルミ缶	1kgあたり20円
スチール缶	1kgあたり20円
布類	1kgあたり20円
ペットボトル	1kgあたり20円
廃食油	1リットルあたり20円

※赤字部分が4月から増額になった内容です。

再生資源集回収助成金を変更しました

町では子ども会や自治会などが行う集団回収に補助を行っています。今回、集団回収を更に活性化させるために内容を一部変更しました。

多くの資源物が家庭からごみとして出されています。これらの資源物を町のごみ収集に出すと、逆に高い

回収費用が発生します。費用削減のためにも、資源物はできる限り地域の集団回収(廃品回収)に出しましょう。

取組方法

家庭ごみから出る資源物を、町指定のごみ袋を使わずに区内の決められた場所に出してもらい、それを区の役員が軽トラックで回収し、引取業者に持っていきます。回収は毎月4回行っています。

取組みの利点

- ★各家庭で資源ごみの袋を使わずに済むことが喜ばれています。
- ★ペットボトルや廃食油など多くの資源物を毎月4回も回収しているため、ごみ袋に入れて出す手間がなくなるなどたくさん利点があります。

実施の結果

平成20年度は町のすべての種類の助成対象資源物を約37トン、ビン類約553本、廃食油267リットルを回収し、町のごみ減量・ごみ処理費用の削減に貢献しました。

収益の活用方法

収益は大津東区の各種行事や団体が活動する時に支援金として交付して還元しています。さらに区民が安心して生活や活動ができるようにAED(自動体外式除細動器)を購入しました。

犬の登録・狂犬病予防集注射日程表

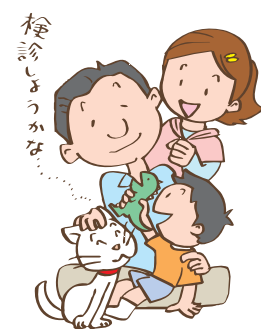
期日	時間	場所
4月13日(月)	9:00~10:00	杉水地区公民館分館
	10:30~11:15	町人権啓発福祉センター(隣保館)
	13:30~14:15	瀬田地区生活改善センター
4月14日(火)	9:00~10:00	陣内地区公民館分館
	10:30~11:15	岩坂公民館
	13:30~14:00	錦野地区農業研修センター
4月16日(木)	9:00~9:45	宮本地区農業研修センター
	10:00~10:30	町野外活動等研修センター(旧真城小)
	13:30~14:00	新地区農事集会所
4月17日(金)	9:00~9:30	美咲野中央公園
	9:45~10:15	高尾野公民館
	13:30~14:15	矢護川コミュニティセンター(旧矢護川小)
4月18日(土)	8:00~9:00	大津東区コミュニティセンター
	9:30~11:30	役場南側駐車場
4月19日(日)	8:00~9:00	町生涯学習センター駐車場
	9:30~11:30	役場南側駐車場

犬の登録・狂犬病予防集注射

平成21年度第1回犬の登録・狂犬病予防集注射を実施します。都合により今回注射できない場合は、お近くの動物病院でも受けることができます。

- 犬の登録は、犬を取得した日(生後90日以内の犬を取得した場合は、生後90日を経過した日)から30日以内にその犬の所在地の市町村長に申請することが義務付けられています。
- 生後91日以上犬の所有者は毎年1回狂犬病予防注射を受けさせなければならないことが義務付けられています。
- 料金は1頭につき次のとおりです。
 - 登録料 3,000円(新規のみ)
 - 注射料 2,500円
 - 注射済票代 500円
- 混合ワクチンを接種した後、3週間は狂犬病注射が受けられませんのでご注意ください。
- 体調の悪い犬や治療中の犬は注射前に相談してください。
- 道路や注射会場に犬のフンを残さないように飼い主による後始末をお願いします!

平成21年度の検診申し込みが始まります



町では、皆さんの健康を守るために、様々な集団検診を実施しています。

●検診を受けることができる人はだれ?

特定健診と健康診査を受けることができるのは、40歳以上で、国民健康保険と後期高齢者医療保険に加入している人が対象となります。その他にも、30歳と35歳で会社などの検診を受けることができない人も健康診査を受けることができます。がん検診は、性別や年齢によって対象者が異なります。

●どういった検診があるの?

●ふるさと総合健診

特定健診・各種がん検診をまとめてより身近な場所で、半日で受けることのできる健診です。待ち時間も短く予約制のため、多くの人が受診しています。

●がん検診

身近な地区で受けることができる「巡回検診」と半日程度でまとめて受ける「複合検診」があります。各がん検診とも事前に申し込みが必要です。

●お早めに申し込みを

対象者には、「検診申込書」を郵送します。4月17日(金)までに役場に提出してください。また、検診を希望する人で申込書が届いていないなど、ご不明な点があれば気軽にお問い合わせください。

各種検診の内容

検診名	検診内容	
ふるさと総合健診(特定健診を含む)	特定健診(健康診査)・肺がん・胃がん・子宮がん乳がん・腹部超音波・大腸がん(便)骨粗しょう症検査(女性希望者のみ)	
特定健診(健康診査)	血圧・身体測定・尿検査血液検査(脂質、肝機能、腎機能、代謝系)腹囲測定・心電図(対象者のみ)	
肺がん検診(レントゲン)	胸部レントゲン撮影	
大腸がん検診	検便のみ	2日分の便提出による潜血検査
	ファイバー	S状結腸の内視鏡(ファイバー)検査
胃がん検診(胃透視)	バリウム飲用によるエックス線検査	
子宮がん検診	子宮頸部の細胞診・内診	
乳がん検診	乳房の視・触診および30歳代の方は超音波検査40歳以上の人はマンモグラフィー検査	
骨粗しょう症検査	腕の骨による骨密度の測定	
腹部超音波検査	上腹部の超音波(エコー)検査	

健康は空気のようなもの

健康は、無くしてしまってから、その大事さにやっと気づくもの。しかし、親や子ども、友人や恋人などあなたの周りにいる人たちは、あなたの健康をだれよりも願っているはず。町は、皆さんが健診を受けて、健康で充実した生活を送れることを願っています。

●国民健康保険人間ドックの申し込みが始まります

町では30歳以上74歳以下の国民健康保険に加入している人に人間ドックの補助を行っています。該当者のいる世帯には、4月中旬にお知らせと申込書を郵送します。ただし、国民健康保険税を滞納している世帯に属している人は対象になりません。また、後期高齢者医療保険の人も対象になりませんので、町の総合健診などを受けてください。

健康で元気であれば年齢なんか関係ない!

65歳以上の皆さんに知って欲しいこと

皆さんは「年をとると心身の機能が衰えるのは仕方がない」と考えていませんか?

最近の研究から、高齢になっても心身の機能は、鍛えて使い続けければ向上することが分かっています。

日常生活を送る心身の機能全体を「生活機能」といいますが、高齢者の人の生活機能が低下していかかをチエックするのが「生活機能評価」です。そして、生活機能の低下が見られる人(特定高齢者といいます)には低下を防ぐための運動器や栄養、口腔機能などの改善のために介護予防事業を町が無料で実施します(一部800円程度の保険料負担があります)。

65歳以上になったら、いつまでも健康に過ごすために生活機能評価を受けましょう(町では健診と同時にを行っています)。

※介護予防参加のお知らせは直接本人に送付します。

基本チエックリストは町地域包括支援センターにありますので、センターでチエックを受けることもできます。気軽にお越しください。

●問い合わせ

町地域包括支援センター ☎(293) 0770